



日本糖尿病教育・看護学会

Japan Academy of Diabetes Education and Nursing

日本糖尿病教育・看護学会  
JADEN e-learning システム構築・運営  
寄付金募集趣意書

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

理事長 瀬戸奈津子

## ご挨拶

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本学会の活動に際しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

糖尿病患者数は増加の一途をたどり、少子高齢化、医療費の増大が深刻化する中、糖尿病重症化予防対策は国家的課題として取り組まれており、糖尿病教育・看護に携わる医療職者の役割も益々重要となっていると言えます。

本学会は1996年に設立され、現在は会員数が2200名の組織に成長し、糖尿病教育・看護の質向上に向け、毎年参加者が3000名を超える学術集会、糖尿病重症化予防（フットケア）研修をはじめとした研修会の全国各地あるいはオンラインでの開催、日本糖尿病療養指導士を中心とした糖尿病療養支援ネットワークづくりなど様々な活動を行ってまいりました。

しかし、糖尿病予備軍も含めた糖尿病患者数が1千万人と推計される現状に対応できる糖尿病教育・看護に携わる人材育成はまだ十分とは言えません。また、地域包括ケアが推進される中で、地域との連携・協力を重視した医療を目指すためには、訪問看護、一般内科クリニック、保健・福祉部門など、これまで以上に幅広い分野の人々に糖尿病教育・看護に関する知識・技術の普及が必要であると考えます。

さらに、本学会が親学会の一つである日本糖尿病療養指導士認定機構では、糖尿病療養指導士の資格更新率が低く、その一因として更新に必要な研修単位取得が時間的・距離的問題から困難であることがあげられ、看護職の単位認定を行っている本学会としての対応が課題となっている現状もあります。

こうした実情から、時間や場所を限定することなく、糖尿病教育・看護に関する知識を得ることが出来るe-learningシステムの構築・運営に取り組むことは重要課題として検討を重ねてまいりました。また、本学会が持つe-learningの特徴についても検討し、2017年に本学会で打ち出した5か年重点目標の「糖尿病対策を担う人材育成と活用」を基盤にしたe-learningの構築が重要であるとの考えに至りました。

本件に関しては、本学会独力ではe-learningシステムの構築・運営は難しく、多くの皆様のご支援により、システムの構築の準備を行ってまいりました。これまで726万円の寄付をいただき、2021年度よりe-learningの最初のコンテンツとなる「糖尿病教育・看護の核となる機能」を作成し、概論を予告版として本学会ホームページに一般公開、会員を限定に全編を公開することができました。しかしながら、コンテンツの作成には想定を超えた多大な時間と労力を要し、日本糖尿病療養指導士認定機構の更新単位に合わせた運営開始に至るまでに時間を要している実情がございます。運営開始が当初の予定より大幅に遅れておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

一方でコロナ禍の集合型研修の難しい状況等に対応するためにも、様々なコンテンツを作成し、研修単位として認められる事業を本格稼働させる予定に変わりございません。さらに、教育カリキュラム、プログラム、コンテンツは継続教育の発展のため、不断の開発と更新が必要と考えております。

つきましては、本学会としてのe-learningシステム構築の趣旨および学会の実情をご理解いただき、継続的なe-learningシステムの運用と発展のため、皆様の支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2022年11月吉日  
一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会  
理事長 瀬戸奈津子

## JADEN e-learning の概要

### 1. 目的

「糖尿病対策を担う人材育成と活用」を基盤にした e-learning 構築により、時間・場所を制限することなく、糖尿病教育・看護に関する知識を、幅広い分野の人々に提供し、継続教育環境の発展と向上に資することを旨とする。

### 2. 予測される効果

これまで遠方のため学会や研修会への参加が困難だった人を含め、多くの会員・非会員の糖尿病教育・看護に関する知識獲得の利便性が高まる。

糖尿病教育・看護に関する知識へのアクセスの利便性が高まることで、これまで以上に幅広い糖尿病教育・看護に携わる医療職者（訪問看護、一般内科クリニックなど）、保健・福祉部門などへの知識提供が可能となる。

日本糖尿病療養指導士の看護師が e-learning を活用することで、更新単位の取得が容易となり、糖尿病療養指導士資格の更新率が向上し、本制度の継続・発展に貢献できる。

広範囲の糖尿病教育・看護に関する知識提供が可能となり、実践で活用され評価されることにより、新たな知の創造の可能性が高まり、糖尿病教育・看護の質向上につながる。

### 3. e-learning の内容

e-learning は、①学会が策定した「糖尿病教育・看護の核となる機能」の内容、②これまで学会として蓄積し、現在も行っている研修の e-learning 化、③糖尿病教育・看護のフロンティア の三本柱のコースとし、それぞれプログラムを作成する。

#### ①学会が策定した「糖尿病教育・看護の核となる機能」コース

作成された糖尿病教育・看護の核となる 5 つの機能を概説するプログラムに続き、今後は、事例に基づいて核となる 5 つの機能に基づき糖尿病教育・看護の基本を解説するプログラムを 3 本作成する。（テーマとする事例は、インスリン治療を受けている・受ける高齢者、多疾患を合併している患者への支援、妊娠糖尿病患者の継続的な支援など）

#### ②これまで学会として蓄積し、現在行っている研修内容の e-learning 化

現在本学会が主催で開催している「糖尿病透析予防支援質向上のための研修」コースとして 5 本、「糖尿病重症化予防（フットケア）研修」コースとして 8 本、「高齢糖尿病患者ケア研修」コースとして 5 本、計 18 本のプログラムを作成する。計画では、「糖尿病透析予防支援質向上のための研修」から着手予定である。

#### ③「糖尿病教育・看護のフロンティア」コース

日本糖尿病教育・看護学会学会会長を務めた方など糖尿病教育・看護を開拓し、先頭を行く、フロンティアの方々の講演内容とし、糖尿病看護の質向上に役立つテーマを 8 本設定し作成する。

#### 4. 作成スケジュール

本学会は2021年度のeラーニング開始から5年間で以下のようなプログラム制作を計画しており、合計30本作成を予定している。

年度	2021	2022	2023	2024	2025	計
①「糖尿病教育・看護の核となる機能」コース	1本 (作成済)		1本	1本	1本	4本
②学会として蓄積している研修内容のe-learning化		5本(透析予防)		8本(フットケア) 5本(高齢糖尿病)		18本
③「糖尿病教育・看護のフロンティア」コース			2本	3本	3本	8本
<b>計</b>	<b>1本</b>	<b>8本</b>		<b>21本</b>		<b>30本</b>

#### 5. プログラムのボリュームと構成

1プログラムは、15分毎に区切り1パートとし、3パートを組み合わせて45分(0.5単位)もしくは、6パートで90分(1単位)とする。日本糖尿病療養指導士の更新単位としての認定も行うため、講義+最後テスト(4択問題5問)を含む構成を基本とする。

#### 6. 価格設定

1プログラム(テストを含む)あたり2000円~4000円を予定(費用算定では、3000円案を用いている)。

#### 7. 費用概算

必要経費 年間視聴者が800人と想定した場合の支出は4年間で3720万円がみこまれるが、年間視聴者が800人で2プログラムを視聴したと想定した場合の収入は800人×3000円×2回×4年=1920万円となり、約1,800万円の不足となる。当然、学会としての自己資金も投入し、4年後に向けては視聴者数を拡大し、黒字化を目指すことになるが、構築に向けての費用を学会のみで捻出するのが困難な状況である。

コース開発費	830万円
年間維持費(4年分)	880万円 (220万円×4年)
コンテンツ作成費	1890万円 (63万円×30本)
運営諸経費	120万円 (30万円×4年)
合計	3720万円

## 寄付金募集要項

### 1) 寄付の名称

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

### 2) 寄付金目標額

13,000,000 円

### 3) 寄付金の使途

糖尿病教育・看護に関する知識普及のための e-learning システムの構築および運用、新規開発

### 4) 寄付金額

下記の通りです。いずれも 1 口以上のご寄附をお願いします。

(1) 企業・団体・医療法人など 1 口 50 万円

\*公開を希望されない場合を除き原則として企業、団体、施設名を本学会ホームページで公開いたします。

(2) 個人 1 口 1 万円

(日本糖尿病教育・看護学会の役員等は 3 口以上をお願いいたします)

\*公開を希望されない場合を除き原則として個人名を本学会ホームページで公開いたします。

### 5) 募集期間

2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

### 6) 寄付金申込及び振込方法

別紙の寄付申込書に記載の上、一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会事務局までメール (g015jaden-mng@ml.gakkai.ne.jp) でご連絡ください。

寄付金のお振り込みは下記口座へお願いいたします。

振込口座：みずほ銀行大塚支店 普通預金 2196561

シヤ) ニホントウニヨウビヨウキョウイクカンゴツカイ

名 義：一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

### 7) 問い合わせ先

寄付についての問い合わせは下記へお願いいたします。

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会事務局

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内

TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852

E-mail: g015jaden-mng@ml.gakkai.ne.jp

## 寄付申込書

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会  
理事長 瀬戸奈津子 殿

日本糖尿病教育・看護学会における糖尿病教育・看護に関する知識普及のための e-learning システムの構築に賛同し、下記の通り寄付を致します。

\_\_\_\_\_円

1) 企業・団体、医療法人 (\_\_\_\_\_) 口 (1 口 50 万円)

2) 個人 (\_\_\_\_\_) 口 (1 口 1 万円)

(日本糖尿病教育・看護学会の役員等は 3 口以上をお願いいたします)

企業・団体、医療法人名	
担当者名 個人の場合は寄付者名	
住所	〒
TEL	
e-mail	
送金予定日	年 月 日
領収書	要 ・ 不要
本学会ホームページ への掲載	掲載名： _____  <input type="checkbox"/> 掲載は希望しない